

【日時】 令和8年2月19日（木）10時00分～11時15分

【場所】 可児市役所 4階第1会議室

【出席者】 （委員）7人（五十音順・敬称略）

会長 葉袋淳子、片桐妙子、坂江レアンドロユウキ、祖父江義美、増尾佳代子、
山田牧子、吉田竹虎

（事務局）5人

課長 田島純平、人権・国際係長 木村彰伯、
人権・国際係主査 照山彩乃、人権・国際係主事 小森遥友

【欠席者】 （委員）4人

【次第】

1. 開会

2. 議題

第1号 男女共同参画意識啓発副読本の改訂について

○事務局 資料1に基づいて説明。

○委員 統計資料6・7で女性活躍の数値が低い理由は、“女性は控えめに”などの日本の風習が関係していると思われる。昔からの風習にとらわれず、女性の積極性を持たせるような発言が追加できると良いのではないか。

○会長 女性活躍推進について考えやすくするコメントの追記が可能か。

○事務局 前後の構成を再確認し、先生役の部分に、昔からの風習にとらわれず活躍推進できるような発言の追加を検討。

○委員 「ジェンダーってなんだろう？」のページについて、先生役の台詞を「ジェンダーとは、生まれつきではなく、生得的ではない、社会的・文化的につくられた性差。」というような一歩踏み込んだ台詞に変更してみてもどうか。ジェンダーは作られたものであるというのは、“ベビーXの実験”について調べると良く分かる。

○委員 統計資料10の先生役の台詞中「昔」を「高度成長期以降」と具体的にすることはどうか。

○会長 「ジェンダーってなんだろう？」のページを抑えておくと、以降のページで焦点が絞りやすくなるので、ジェンダーは後からつくられたものだと分かりやすい表現にできると良い。

○事務局 アンコンシャス・バイアスのページにて、先生役が「これらは生まれた時から思っていることではなく、過去の経験や体験から無意識のうちに記憶づけられるもの」と言っている。ジェンダーギャップ指数等の結果は、ジェンダーやアンコンシャス・バイアスが原因であると考えられるので、「働き方はジェンダー平等？」のページに『さっきのジャンダーやアンコンシャス・バイアスでやったことだね。』などのコメントを入れて、これらのことを振り返られるようにしてはどうか。また、副読本を学校に送付する際には、冊子の活用方法のようなものも一緒に渡せると良いと考え

ている。

- 会 長 事務局は、重要なワードを考えながら、後から出てくるワードを示唆させるように整えていくこと。また、冊子の活用のポイントや簡単なマニュアルなどをまとめた資料を作成すること。その中に委員から紹介があった「ベビーXの実験」を参考資料として紹介するという方法が可能であれば行うこと。
- 委 員 冊子の活用に重点をおくべき。中学3年生は受験などで忙しいので、その他の時期ではどうか。また、クラスでの授業でとどめることなく、毎年、学年集会のような全体は集まる場面で説明しても良いのではないかと。
- 委 員 中学1・2年生でも良い内容なのではないか。また、夏休み前にこの本を読めば自由研究のテーマにもなるので、使用するタイミングは夏休み前が適当ではないかと思う。
- 統計資料 10 下の先生役の台詞「しかし、会社や社会で活躍～社会になると良いですね。」の部分が大切だと思うので目立たせてほしい。
- 会 長 活用については学校に任せていて、活用出来ていないところもあるのが現状だ。そこを全体で強制的に出来ると良いという意見であった。学校現場の実態やどのような運営方法があるかなど、学校としての意見はいかがか。
- 委 員 本校において今年度「いのちの教育」が行われた。時間は全学年で2時間ずつである。内容は、この副読本の内容がかなり網羅されていた。この冊子は使用されなかったが、なんらかの形でリンク出来れば良いと感じた。
- 冊子全体について、統計資料3・4などがもっと見やすくなると良い。また、登場人物の人数やインタビューの順番が大切になると思われるので男女順番にするなどしてはどうか。
- 会 長 「いのちの教育」にリンクさせることも大事である。また、「いのちの教育」だけでなく、男女共同参画に特化した授業を全体で行うことは可能か。
- 委 員 出来ると思うが、ボリュームのある内容なので2時間ではできないかもしれない。それぞれ教諭に任せると差が出てしまうので、全体で行うほうが効果的だと思われる。
- 会 長 冊子を渡すだけでなく、こちらが介入し、確実に話が出来る状況を作れると良い。
- 事務局 市では出前講座を行っている。男女共同参画ではないが R6 年度に蘇南中から多文化共生について出前講座の依頼があり、実施した実績がある。出前講座を積極的に使用してもらうよう周知をしたい。また、「いのちの教育」とリンクすることや男女共同参画に関する授業を毎年行うかどうかは、教育委員会との調整が必要である。統計資料は業者デザイン時に修正、登場人物は3人、インタビューの順番は女性男性女性男性の順番を予定。
- 配布対象者については、予算の都合があるので今後の課題としたい。
- 会 長 中学3年生に限らずその他の学年に配布しても良い。また、教育委員会との連携が必要である。「いのちの教育」とリンクしなくても、大切なことは何度話しても良い。どこでどのように活用していくかは今後検討が必要である。
- 委 員 用語解説に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」「不同意性交等罪」を追加してほしい。

- 委員 統計資料に全て年号をいれると良い。
統計資料 10 下の先生役の台詞「希望どおり」を「選択した」に変更してはどうか。
「アウトティング」のページについて、「言いふらした」を「暴露した」に、「人権侵害にもなります」を「著しく人権侵害をする許されない行為です」と言い換えてはどうか。中学生は性のことを面白おかしく言いふらしてしまうこともあるので、アウトティングは本当に許されない行為だと理解してもらうためにも少し強く表現しても良いと思われる。
デートDVのページ中「デート代は男が払ったほうがカッコイイ」「女の方は控えて従順」の2つは「～であるべき」としたほうが分かりやすいのではないかと。
- 委員 アウトティングの部分にカミングアウトも入れてみてはどうか。
- 会長 事務局は、資料が整い次第委員へ送付し、委員確認後全体構成の手順で進めること。

3. その他 事務局が委員報酬と第3回目審議会は書面で行う旨説明。

4. 閉会

11:15 終了